



たかと
渡部 貴斗さん (21歳・仲町)

岩手大学3年、4人組バンド「Crynote」所属。音楽を起点とした地元商店街とのタイアップ企画「Snack Jack」のプロジェクトリーダーを務めます。

YOUNG がんばる!ヤング 25

若者の元気は町の元気!
部活動などをがんばる
高校生や大学生を紹介します!

音楽を起点とするイベントで
地元商店街を活性化

「中学や高校で運動部に入っていたころから音楽鑑賞や歌うことが好きだった」という渡部さんは、対面授業が解禁となった大学1年の秋に音楽系のサークルに加入。2年生の秋には、仲間らとともに4人組バンド「Crynote」を結成し、自身はギターボーカルを担当します。

バンド結成の少し前には、岩手県主催の起業家人材育成事業「いわてイノベーションスクール」を受講し始め、地元で地域振興に取り組む方々からの講話やビジネスプランの作成を通じ、若手リーダーや起業家になるためのビジネススキルなどを学んできました。

その中で、スクールの講師を務める方の「時代を変えるのは、自ら行

動し変化を起こせる人」という言葉に感銘を受け、かねてから抱いていた「路上でライブをしたい」という思いを「盛岡市の肴町商店街を舞台に、大学生や高校生らによる路上ライブイベントを開催する」という具体的な目標へと昇華させ、渡部さんをリーダーとするプロジェクトが始動しました。

「私たちのように『もっと多くの人に演奏を見てもらいたい』と出たかったと同時に、地元商店街の活性化になればという思いでプロジェクトを進めた」

そう話すように、実行に向けて奔走する中で、渡部さんの思いに賛同する仲間からの後押しや、商店街の方々からの「ぜひやって欲しい」「若い力で肴町を盛り上げて」との声を

力に変えながら、昨年7月に1回目のイベントを開催。「1回目は人が全く集まらなかった」と振り返りますが、回を重ねるごとにライブに参加するグループが増え、商店街の客足もじわじわと増加しました。

その後、「若い力で肴町を乗っ取り、商店街を人で埋め尽くす」との思いから「Snack Jack」という名の月1回開催の定例イベント化し、元々は出演者側だった渡部さんは裏方に回り、広告作成や出演者を募るなどの運営面を担当します。渡部さんは、「どうすればもっと楽しい場になるかなど、今は運営の仕事にやりがいを感じている。今後はものづくりや飲食などをはじめとする幅広い分野の出店者を募り、より多くのチャレンジが生まれる場としていきたい」と、今後の展望を話しました。

ゾーイの
ごじょうめ日記



Zoe Fell (ゾーイ・フェル)
イギリス・パークシャー出身。
昨年8月から、町の外国語指導助手
(ALT)に着任しました。

冬の楽しみ

Last month has been a very lovely start to the new year. Throughout January in the UK, we hear a traditional Scottish song. It's name is "Auld Lang Syne." I was interested to learn that a Japanese song, 蛍の光 (Hotaru no Hikari) has different words, but the same tune!

先月は、心を新たに、爽やかな気分で新年を迎えることができました。イギリスでは1月中ずっと、「オールド・ラング・サイン」というスコットランドの民謡を耳にします。歌詞は違いますが、「蛍の光」とメロディが同じことを知ってとても興味深く感じました!

The days have been colder and darker, so I have been baking breads and cooking lots of nabe. I have also been trying some new crafts, such as Origami, but I am not

very good yet! I went ice skating many times with other ALTs from Ikawa and Katagami. The ice-skating rink in the city is fantastic, and many people spoke to me and helped me improve my skating. Next, I want to try skiing in the beautiful Akita mountains- I hope to go soon!

最近は寒くて暗い日が続く、家でパンを焼いたり鍋料理を作ったりして過ごしていましたが、折り紙など新たなことにも挑戦していますが、まだ上手にできません。また、井川町や潟上市に勤務するALT仲間たちと一緒に、秋田市のスケート場へ行きました。スケート場では、周りの方々が親切にアイススケートを教えてくれました。この冬には、スキーにも挑戦し、秋田の冬山の美しさを堪能したいです!



輝け! 五城目びと

教え子たちとともに
さらなる高みを目指す

書道教室「豊光書院」

小玉 光子さん (73歳・町村)



朝市通りの近くにある、自らの雅号を冠した「豊光書院」で子どもたちに書道を教える小玉さん(写真中列・左から2番目)。「教室の子どもたちからいつも元気を分けてもらっている」と、子どもたちとの交流を日々の活力にしています。

小玉さんが書道に打ち込むようになったのは30代中盤のころで、「人生で何か夢中になれるものが欲しい」との思いから町の書道教室に通い始めたことがきっかけです。その後、書道展などへの出展を重ねていくうちに数々の入選や受賞を果たし、県の書道展では、小玉さんが出展する「一般一科臨書漢字」の部門で平成29年に最高賞となる

「推薦」を、令和元年と同4年には推薦に次ぐ賞の「特選」を受賞しています。また、教室に通う子どもたちも新春書初め大会や県の書道展で数多くの入選を果たしており、平成26年の新春書初め大会では同教室へ特別賞が贈られました。

小玉さんは、「子どもたちは素直で、上達がとても早いです。また、教え子たちの作品が入賞するのは自分のことのように嬉しい反面、『負けてられない』という気持ちにもなります。20年以上の出展で一度もない県の美術展覧会での入賞を生涯の目標とし、今後も書道に一生懸命励みたい」と、今後の意気込みを話しました。

ごじょうめの
文芸



「短歌」
初日の出照らす森山清らかに
思いあらたに若水をくむ 岡本 二方 征捷
わが里より仰ぐ森山富士に似て
月を背にする夜は神々し 浦横町 大宮 一郎
小春日をたまるるひと日ガラス越し
椅子の上にも温みの差して 八郎瀧町 畑澤 英子
窓越しに降る雪ながめ春を待つ 古川町 小濱 キエ
炬燵で蜜柑また一つむく
「俳句」
町の長寿状を夫に実南天 湯ノ又 畑沢タマ子
静寂の光のるつぼ初日の出 湯ノ又 松橋テル子
そつと撫で傘寿の皺の初鏡 畑町 本間 恵子
「川柳」
音痴でも歌に癒され歌に酔う 八郎瀧町 谷村さゆ子
匙加減ひとつで変わる風の向き 新町 大原美どり
まだ呼吸できる地球で生きている 新町 荒川 一滴
勝ち目ない無言の妻に折れて出る 畑町 三浦 春水